

事務事業評価シート

(H.30)No.	6118	(H.29)No.	6118
-----------	------	-----------	------

事務事業名	文化振興費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	501501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	文化振興費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	文化振興費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	文化振興
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市の文化の発信と、市民文化の向上を図ります。
事業内容
庶務経費及び市民文化祭の実施委託料と、市美術展覧会経費を含んでいます。 美術展覧会は、本年で61回を数える伝統ある行事で、市民の芸術文化に親しむ機会や創作活動に親しむ場を提供しています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)			H.32年度(事業計画)			H.33年度(事業計画)					
	H.28繰越分		H.29現年分		H.29繰越分		H.30現年分		H.31年度(計画予算)			H.32年度(計画予算)			H.33年度(計画予算)	
主な事業の実績・計画	庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会、県展移動展の開催にかかる経費		庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費		庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費			庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費			庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費					

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分		H.29現年分				
①直接事業費	1,970千円		1,922千円		1,822千円	1,822千円	1,822千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()	336		360		360	360	360
一般財源	0	1,634	0	1,562	1,462	1,462	1,462
人工数	0.30人		0.30人		0.30人	0.30人	0.30人
職員	0.30人		0.30人		0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,220千円	0千円	2,220千円	2,220千円	2,220千円	2,220千円
①+②総事業費	0千円	4,190千円	0千円	4,142千円	4,042千円	4,042千円	4,042千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
市美術展覧会では、高校生の出展料を減免するなど応募数を増やす工夫をしました。市民文化祭では、邦楽や舞踊、狂言などの伝統芸能の発表をはじめ多彩な行事が開催されました。市民文化祭や美術展覧会開催により、市民が身近なところで文化に親しむことができる機会を提供し、文化芸術活動の振興を図りました。市民文化祭は、名張文化協会に運営を委託をしています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
より効率的な事業運営を図るため、引き続き民間の助成金の活用を図りながら、市民文化の向上に努める必要があります。市美術展覧会や市民文化祭などの事業の財源は、限られた予算の中で、民間助成等を活用しています。	